



コミュニティ・スクール 霧島市立国分北小学校 学校だより 令和8年3月

北小の風



校訓「正しい知識・豊かな心・強い身体」 創立56周年 児童数394人 TEL 0995-46-0588

「受け継がれる見えないバトン」

国分北小学校 川野 浩明

先日、遠足の日に「6年生を送る会」がありました。各学年から6年生へ、歌やメッセージのプレゼントが贈られました。どの学年も、「6年生に喜んでもらいたい」という思いを込めて工夫を重ね、一生懸命練習してきたことが伝わってきました。

また、5年生からは、6年生一人一人に向けたメッセージが贈られました。6年生の代表が受け取った後、それを仲間に見せるように高く掲げました。その姿からは、後輩たちの思いをしっかりと受け止めた喜びが伝わってきました。これまで学校の中心となってがんばってくれた6年生へ、感謝の気持ちがあふれる、心温まる会となりました。



さて、ミラノ・コルティナオリンピックでは、「りくりゅう」こと三浦璃来・木原龍一ペアが、日本勢史上初となる金メダルを獲得しました。金メダル獲得もすばらしいなと思ったのですが、後のインタビューでの木原龍一選手の言葉が心に残りました。木原龍一選手は、かつてペアを組んでいた高橋成美さんに、「ペアの世界に誘ってくれてありがとう。なるちゃんがいたから、俺たちが獲れたから。つないでくれてありがとう。」と、語りかけました。この言葉には、先人たちからの努力や思いが、自分へと受け継がれ、実を結んだことへの感謝が込められているように感じました。



子供たちも同じです。自分の学年で学んだこと、取り組んだこと、できるようになったことなどは、実は、自分だけのものではありません。「去年の〇年生のようになりたい。」「自分たちもあんなふうにがんばりたい。」といったように、先輩たちから受け継ぎ取り組んできたことが、次の学年の目標となって受け継がれていきます。新しい学年になっても、0からのスタートではありません。これまで国分北小の子供たちが大切に守りながら積み重ねてきた、「見えないバトン」があるのです。



6年生はいよいよ卒業です。6年間の歩みの中で残してくれた足跡は、これからも国分北小にしっかりと受け継がれていきます。6年生から受け取ったバトンを胸に、次の国分北小の子供たちが、新しい歴史をつくっていくことでしょう。

今年度、子供たちを支えてくださった保護者、地域の方々に感謝申し上げます。これからも国分北小の子供たちを、どうぞ温かく見守っていただきますようお願いいたします。